（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果　令和8年3月実施

| 事業所名 | こだま |
|---|---|

公表日　2026 年 3 月 29 日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 2 | 3 | | お子さんの特性により広い活動スペースが求められるため、積極的に公園や体育館などで身体を動かせる活動を取り入れています。今後も療育視点での目的や個々の特性に併せてスペース確保に努めて参ります。 | 職員ひとりひとりが支援者として責任を持ち、お子さんの動きを確認しながら適切に十分な活動スペースのある場所へ誘導いていきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 1 | | 現在、お子さん２人に職員１人以上の配置があります。今後もお子さんの安全な支援のためにも十分な配置ができるよう努めていきます。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 2 | 3 | | | 環境設定や掲示方法に職員間で差が見られるため、基準を明確化し共有を図っていきます。また、個々の特性に応じた環境調整を進め、より分かりやすく過ごしやすい空間づくりに努めていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 2 | | | 時間帯や活動内容によっては環境の整備が十分でない場面もあるため、環境調整のタイミングや役割分担を見直します。今後は、より活動に適した空間設定ができるよう継続的に改善していきます。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 1 | | | 個別スペースの活用方法や判断基準にばらつきがあるため、職員間での共通理解を深めていきます。今後は、より適切なタイミングで活用できるよう運用の見直しを行っていきます。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | 1 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 3 | 2 | 第三者による外部評価は実施していませんが、自己評価や保護者アンケートを通して意見を収集し、業務改善につなげる取り組みを行っています。 | 外部評価を実施できていない点が課題であり、客観的な視点を取り入れる機会が限られています。今後は、費用面も踏まえつつ実施方法を検討するとともに、関係機関との意見交換等を通じて外部の視点を取り入れていきます。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 1 | 1 | | 研修機会や内容に偏りが見られるため、計画的な研修体制の整備が課題です。今後は年間計画の作成や内容の見直しを行い、より効果的な人材育成につなげていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | 1 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | | 1 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | 1 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 4 | | 1 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 1 | 1 | 日々の行動観察や記録をもとに、子どもの適応行動の状況を把握し、支援に活かしています。また、必要に応じて関係機関からの情報も参考にしながら、総合的にアセスメントを行っています。 | 活用は十分とは言えないため、導入や活用方法の検討が課題です。今後は職員の理解を深めながら、より客観的な評価につなげていきます。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | 1 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 3 | 1 | 1 | 支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認し、チームで連携して支援にあたっています。 | 時間的な制約等により打ち合わせが十分に行えない場合があるため、情報共有の方法や時間の確保が課題です。今後は記録ツールの活用や共有方法の見直しを行い、安定した連携体制の構築を図っていきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 1 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | | 5 | 現時点で該当する利用児童はいませんが、移行が必要となった場合には、これまでの支援内容や経過について適切に情報提供できるよう記録の整備や共有に努めています。 | 実際の移行支援の経験が少ないため、具体的な手順や連携方法の整理が課題です。今後は情報収集を行い、円滑な移行支援が行える体制づくりを進めていきます。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | | 5 | | 市内に児童発達支援センターがない状況のため、関係機関や相談支援専門員等と連携し、必要に応じて助言や情報共有を行いながら支援の質の向上に努めています。 | 専門的なスーパーバイズを受ける機会が限られている点が課題です。今後は近隣地域も含めた関係機関の情報収集を行い、研修や助言を受けられる体制づくりを進めていきます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 1 | | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 2 | | （自立支援）協議会については、市内の立ち上げに協力するとともに、市外の協議会にも参加し、地域の関係機関との連携強化や情報共有に努めています。 | 参加できる職員が限られており、事業所全体での共有や参加機会の確保が課題です。今後は参加内容のフィードバック方法を工夫するとともに、勤務体制の調整等を検討し、より多くの職員が関われる体制づくりを進めていきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 1 | | | |
| 保護者への | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 5 | | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 説明等 | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 1 | 4 | | | 保護者への周知が十分とは言えない点が課題です。今後は配布方法や説明の機会を見直し、より分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | 2 | | | 避難訓練の実施回数が十分とは言えず、職員全体での主体的な関わりに課題があります。今後は年間計画の明確化や役割分担の見直しを行い、職員全体で継続的に取り組める体制づくりを進めていきます。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 2 | 3 | | | 職員間で安全管理に対する意識や対応に差が見られ、状況によっては統一した対応が徹底されていない点が課題です。今後はルールの再確認や具体的な事例を用いた研修を行い、職員全体で共通認識を高めるとともに、組織として一貫した安全管理体制の強化を図っていきます。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 4 | 1 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | | | | |